

京都経済記者クラブ報道機関各位

No.14-01-01
2014年4月25日

【ご案内】

デジタル時代のスタンダードレンズ ～ 近見時の眼の負担を軽減 サンコンマイルド i (アシストタイプ) を新発売

株式会社サンコンタクトレンズ（京都市中京区、社長 大橋 勲）は、高酸素透過性ハードコンタクトレンズ サンコンマイルド i (アシストタイプ) を5月7日に発売します。「近くを見るとき目の負担を軽減」をコンセプトにしたハードコンタクトレンズです。

パソコン、スマートフォンなどIT・モバイル環境の進化に伴い、VDT (Visual Display Terminal) 作業など近くを見る時間が増加しています。VDT 作業者に対する厚生労働省の調査によると、1日4時間以上の作業をする人が全体の半数以上、長時間化の傾向は年齢が若い人ほど顕著に表れています。なんらかの身体の疲れを感じている人が83%、そのうち91%の人が「目の疲れ・痛み」を感じています。長時間、近くを見るとき目の筋肉（毛様体筋）の緊張が一因です。

サンコンマイルド i (アシストタイプ) は、レンズ中央に遠用（クリア）ゾーン、周辺に近用（アシスト）ゾーンを配置。アシストゾーンに低い度数（+0.50D）が加入されていることで、近くを見るとき目の負担の軽減が期待できます。また、クリアゾーンを広く設計、遠くは単焦点レンズ同等のクリアな視界が得られることで、眼を酷使する現代人が求める Quality of Vision（見え方の質）を実現します。デジタル時代のスタンダードレンズとして、幅広い年齢層にご使用いただけるレンズです。

また、レンズサイズや周辺形状が選べるカスタムメイドと眼科医の指示による調整サービスにも対応、一人ひとりの眼にあわせたデザインを提供いたします。

サンコンマイルド i 医療機器承認番号 22600BZX00040000

< 本件のお問合せは、下記までお願いいたします。 >

株式会社 サンコンタクトレンズ 担当：広報室